

## 活動テーマ 守ろう、里山の暮らし

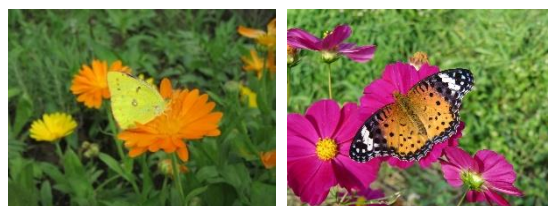
### ～持続可能な農業の実践とともに～

#### 実践事例について

学校圃場では、「総合的な学習」の時間を中心に無肥料・無農薬で作物を育て、自家採種も行っている。持続可能な農業の実践は、食の安全・安心とともに、生態系の保全にもつながる。今年度は、ESD 委員会と地域の方との話し合いから、昔はどこにでも見られた炭焼き窯を作り、炭焼きをしようと計画、実行した。また、第3回スポーツ交流会の企画・運営のなかで、その炭を使い火鉢で暖をとる体験コーナーも設けた。

#### 1. 農と食

(1) 持続可能な農業と発信 学校圃場では、持続可能な農業として、自家採種した種を播き、無肥料・無農薬で作物を育てている。今年度も前期生（1～3年）は、個々に割り当てられた「マイ・ガーデン」の畑で学年に応じた作物を育て、家庭科との連携で調理を行った。後期生は座学とともに、探求活動のなかで加工も学んだ。また、1, 2年生が学校の水田で育てたもち米は、お祝い行事での赤飯となったり、地域との交流会で餅つきをしたりと様々な場面で活用され、持続可能な農業の発信にもつながった。



#### 2. 環境と地域連携

(1) 圃場のガーデニング 昨年度に植えた花の苗が圃場の畝や溝に芽吹いたものを、ESD 委員会で花壇への移し替えを行った。初夏に「きんせんか」、秋に「秋桜」が圃場に花を添え、目を楽しませてくれた。

(2) 炭焼きの実現 里山再生の一つとして炭焼きをしてはどうかという ESD 委員の提案から、昨年度末より地域の方と計画を練ってきた。今年度、ようやく学校圃場の一角に炭焼き窯を作ることができた。11月に火入れを行い、初めての炭焼きが実現した。



炭焼き窯作りと薪割りの様子

(3) 第3回スポーツ交流会【H31年1月27日(日)】 地域の方との交流の機会を増やそうと、ESD委員会が企画したスポーツ交流会も今年度で3回目を迎えた。ポスター作りから案内状配布、企画や運営を主にESD委員会前期生で行った。スポーツでの交流、餅つき、また炭と信楽焼の大火鉢の登場で会話が弾んだ。



スポーツ交流会での食事準備の様子

### 平成30年度 活動の概略

月	農	食	環境・地域 他
4	出来上がった炭と、信楽焼の火鉢		畑のしだれ桜(畑区・見学)
5	よもぎ摘み 乾田苗代、籾播き 夏野菜の播種 鉢替え、定植	よもぎ餅作り 焙煎、試飲	茶摘み(畑区・茶畑) 圃場花壇作り(圃場の環境整備) 虫送り(地域行事への参加) 田んぼの生き物調査 ★圃場の生き物観察、記録
6	田植え ★梅の収穫 除草 ★古代小麦の収穫	梅干し作り 小麦粉へ	炭焼き窯作り
7	夏野菜の収穫	野外調理(ピザ作り)	ESDカフェの実施(紫苑祭)
9	冬野菜播種 夏野菜種取り		炭焼きの実施
10	★ブルーベリー収穫 稲刈り、脱穀、精米体験	ブルーベリージャム作り	
11	さつまいも収穫 大豆、小豆の収穫、選別	焼き芋、スイートポテト おせち料理(芋きんとんなど) 味噌作り・豆腐作り 餡子作り	
12	冬野菜の収穫		畑区交流会
1			お餅のお供え(畑区天満宮)
2		食品ロスについて考えよう (1年生家庭科)	スポーツ交流会の企画・運営
3	(苗土作り)		昼食(おにぎり、豚汁)の提供、 餅つき

(★印は、今年度後期生の探求活動 太字は、今年度の主なESD委員会活動)

学校名	M I H O 美 学 院 中 等 教 育 学 校
住 所	甲 賀 市 信 楽 町 畑 3 6 9
電 話 番 号	0 7 4 8 - 8 2 - 3 4 3 5
E-mail	<a href="mailto:ta-tomoko@mihobigaku.jp">ta-tomoko@mihobigaku.jp</a>
	(担当 高橋)